

公正価値ヒエラルキーレベルの開示

IASBは、2011年5月に、IFRS13(公正価値測定)を公表しました。日本においてもASBJが2010年7月に「公正価値測定及びその開示に関する会計基準」の公開草案を公表し、当初は2012年4月1日から開始される事業年度に適用される予定が、延期されています。

今回は、IFRS13で求められる公正価値レベル開示に関するXNETの取組みをご紹介します。

■ IFRS13で求められる主要要件とXNETの取組み

主要要件	主たる内容	XNETでの対応	リリース予定	サービスレベル	コメント
公正価値ヒエラルキーのレベル	保有金融商品に関する3つの公正価値ヒエラルキーのレベルの付与と、金融商品種類及各ヒエラルキーレベル単位での公正価値の開示	①金融商品の公正価値レベルを付与するDBの構築及び自動レベル付与機能の構築	2012年秋頃 第1弾をリリース予定	ISシリーズ	公正価値レベルの判定ルールを用いた自動付与と、お客様による手動メンテナンスの両面からのサポートを実現します。
レベル1及びレベル2の間の振替額	公正価値ヒエラルキーのレベル1とレベル2間の振替額、振替の理由、およびレベル間の発生が発生したとみなす決定に関する企業の方針の開示	②保有銘柄単位での公正価値レベル間の移動データの把握	2012年秋頃 第1弾をリリース予定	DSシリーズ	現状は、開示情報の基礎データを構築すべく、ディスクロースDBへの格納までを対応予定です。帳票等のご要望があるお客様は、担当CEへご相談ください。
		③期首と期末間の公正価値移動額データをディスクロースDBへ格納	2013年度以降 リリースを計画中		
レベル3の調整表	以下の要素を含んだ期首残高と期末残高の調整表 i) 損益に認識された金額 ii) その他包括利益に計上された金額 iii) 購入、発行、売却および決済額(種類毎の個別開示) iv) レベル3への振替額またはレベル3からの振替額	④保有銘柄単位での公正価値レベル間の移動データの把握	2012年秋頃 第1弾をリリース予定	DSシリーズ	「レベル3の調整表」は、お客様により開示方法、内容が異なること想定されます。IFRS13では、振替額の把握方法の例示として、「振替を生じさせた事象又は状況の変化の日」、「報告期間の期首」、「報告期間の期末」で把握する3方式の例示がされています。
		⑤期首、期末間の公正価値移動額データをディスクロースDBへ格納	2013年度以降 リリースを計画中		
		⑥ディスクロースDBから「レベル3の調整表」を作成。			

※各IFRS要件に対する詳細スキームは、担当CEへお問い合わせください。